



皆さんこんにちは。私は、熊野古道の語り部をさせていただいています。主としてツツラト峠を案内してありますが、ここに観光バスで来られる方は熊野古道が初めての方も多く見えます。その初めての方の中には、隣の人から誘われて単なるバス旅行と思われ参加した方もいるため、登りてびつくり、下りてびつくりやつと下に着いてからバスまで遠い。二度と熊野古道には「来たくない」と言う事にならぬよう、ゆつくり歩く。休憩時間は短くても回数を多くめにとる。説明する時も一旦休憩し



# 熊野古道からの のがみ

熊野古道からの  
のがみ  
49 通目

次は紀北町の  
金子修さん



三宅一成さん  
(松阪市)  
熊野古道語り部友の会  
宮川流域案内人の会 副会長

て少し休んでから説明をして出発するなど、とにかく山登りは大変だとは思わせない、私でも山に行けるのだと思わせ、途中には色々な遺産があり、山頂に雄大な景色があり、他の峠にも行って見ようと思わせるような案内を心がけています。



## 花尻薫からの季節のたより No.49

冬になって赤く熟し食べられるフイチゴは、暖地の林の中に生育する、つる性の植物です。花の時期は7月から11月頃まで、白花を5個から10個つけ、冬に熟するから冬苺・寒苺と称します。

イチゴの種類は世界中で三百種類から三千種類とも言われ、熱帯から寒帯まで、そして低地から高地まで分布しています。

鹿児島島の「こしき島」では、果物のない冬の実としてオヤコウコウイチゴと称しています。

野生のイチゴの仲間は多くて、苗代をつくる頃熟するナワシロイチゴ、葉がモミジのように切れこんでいるモミジイチゴなどがあります。フイチゴの果実は甘く

### フイチゴ とヘビイチゴ



て、汁が多いので、一番好まれています。かつては山で遊ぶ子どものおやつであったと言われています。

ヘビイチゴの仲間にはヘビイチゴとヤブイチゴの2種類有り、どちらも実がなりますが、甘みもなくおいしくありません。ヤブイチゴとヘビイチゴは中国においては蛇苺(ショウメイ)と呼ぶらしいですが蛇が食べるイチゴという意味らしいです。

ヘビイチゴは人家の近くの道ばたや、山の林の入り口にあり果実の直径は1cmから2cm、全体に光沢があるようです。5月から6月頃見られるようです。又、本州の中部方面と屋久島にはシロバナイチゴと言う種類があり、食用になると記されています。



# 三重県立熊野古道センターからのてがみ

"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

## 2018.冬号

通号 No.49

# 日曜わくわくものづくり体験教室

「ものづくり」は、「もの」をつくることで、①形あるものを作り出す。目的をもったものを作り出す。②人間生活に有用なものを作り出す。③人間生活の秩序に合わせる。この3つの内容をもつものといわれています。

それでは、「もの」を手づくりすることには、どんな意味があるのでしょうか。昔は、ないから作る、いろいろな寸法のものがあるから作る、あるいは高く買えないから作る。つまり、自分で作らざるを得ませんでした。自分の手で何かをつくることは、作る過程の困難さの克服や改良を加える、工夫を凝らしてきた時のよこびを味わうことでしょうか。ものづくりを体験することによって、身につくものがたくさんあります。これは見たり聞いたり、あるいは読んだりすることよりもはるかに大きく、人の心に深く刻まれるものです。自分で裁断、研磨し組み立てて作ったものが、持たせたい機能を発揮できているか、美的にも耐えられるかが問題です。それゆえに、うまく作り上げた時のよこびは、たとえようもないくらいの気持ちになるものです。

自ら工作することは、自分の意思や構想が反映され、とても楽しいことです。もっとも、これはうまくいった場合であ

り、最初からうまくいくものではないのです。デザイン力や工作技術、それに伴う頭の働きや根気、工夫あるいは探求心、好奇心など自分自身の興味や能力向上の刺激にとってもよいプロセスが「ものづくり」といえます。

熊野古道センターでは毎週日曜、「日曜わくわくものづくり体験教室」を開催しています。講師は、地域で活動する様々な分野の作り手で、ものづくりの楽しさを知ることができる体験教室として人気があります。例えば、木工体験では日本農業遺産に登録されたことでも知られる「尾鷲ヒノキ」を材料として用いるなど、この地域の特産を来場者に知っていただく場にもなっています。

工作する過程の経験と結果から、次なる創作意欲が高まり、やる気、根気が芽生えます。「日曜わくわくものづくり体験教室」は、毎週日曜の午後1時～午後3時まで開催しており、事前申し込み不要で小さな子どもから大人まで気軽に楽しんでいただけます。あなただけの、この世界にひとつしかない「もの」を作りませんか。お待ちしております。

センター敷地内「夢古道おわせ」  
ぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング  
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間	11:00~14:00
料金	中学生以上.....1,200円 小学生以上.....700円 4歳~小学生.....300円 4歳未満.....無料 60歳以上.....1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」  
深層415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、通し後もポカポカです。

開館時間	10:00~21:00
入浴料	一般.....600円 65歳以上.....500円 4歳~小学生.....300円 4歳未満.....無料

お風呂ががらり、カフェでゆったり♪  
営業時間  
9:00~16:30  
土日のみ16:00~16:30  
「おわせ塩ラーメン」  
やっつけます!

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。

熊野古道センターからのてがみ  
2018年 冬号

●発行日:2018年12月11日(季刊)  
●編集・発行:三重県立熊野古道センター  
(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史文化ネットワーク)  
●編集担当:玉村  
●連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
TEL 0597-25-2666  
FAX 0597-25-2667  
Mail info@kumanokodocenter.com

●開館時間:午前9時~午後5時  
●入場料:無料  
●休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ  
http://www.kumanokodocenter.com/  
60000181211AT

熊野古道 伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ  
熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(横垣峠(石碑)~坂ノ神区間)は通行が解除となりました。  
●詳しくは御前町教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問合せください。

熊野古道センターからのてがみ

●お車で越しの方は...  
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)※尾鷲南ICからは約8分

●電車で越しの方は...  
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車  
■松阪駅  
→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)



### 企画展 知られざる熊野のダム

#### 北山川・銚子川水系の水力発電を科学する



紀伊半島南東部の北山川流域および大台ヶ原を源流にそこから約17kmを一気に熊野灘に流れる銚子川流域に築造されているダムと発電所を取り上げた企画展を開催します。また、廃止された地域の小水力発電所についてもパネル等で紹介します。

2018 12/22(土)・2/17(日)

●休館日 12月31日、1月1日

時間 午前9時～午後5時

場所 企画展示室

入場料 無料

付属事業① 講演会 土木遺産は語る 小水力発電の今

三重県南部地域の廃止された小規模水力発電について、現在の姿と古写真や地形図などを紹介しながら、地域との関わりについてお話しします。

11/22(土)～12/21(金) 午後5時まで

12/22(土)

時間 午後1時30分～3時

参加料 無料


定員 80名(要申込・先着順)

会場 映像ホール

講師 熊野古道センター職員

### 企画展 わが町ふるさと 紀北町

#### 海と山が織りなす町



三重県北牟婁郡紀北町の歴史や生き立ち、主産業、食文化の他、熊野古道を中心とする景勝地や祭り、特産物など同町の魅力についてパネルや動画映像等で紹介します。

3/2(土)・4/14(日)

時間 午前9時～午後5時

場所 企画展示室

入場料 無料


●会期中無休

### 東紀州のうまいもん!

## うちわえび

#### Guide&Tips

尾鷲市は当地域で唯一、沖合い底引き網漁が盛んな街で、ガスエビやオニエビをはじめとする様々な種類のエビが水揚げされます。中でも、隠れた名物がウチワエビです。ウチワエビは、草履のような外観からは想像できないほど美味であり、地元ではエビの王様イセエビに匹敵する程の絶品とされ、料亭などで出されています。濃厚な甘みと引き締まった身は、てんぷら、塩茹、塩焼き、味噌汁など、様々な料理で楽しめます。機会があれば一度は食べていただきたい逸品です。



### 和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

年の瀬も迫って参りました。今年も熊野参詣道へ国内外から多くの方がお見えになり、当センターもご利用いただきました。秋には台風の影響により古道なども被害を受けましたが、参詣道保全活動「道普請」に下記のように多くの皆様にご参加いただき、補修・清掃作業などをしていただきました。

また、今年度も4回の世界遺産セミナーを開催し、多くの方にご参加いただきました。

和歌山県世界遺産協議会(事務局:和歌山県世界遺産センター)では、次世代を担う子どもたちへの世界遺産教育として、次世代育成事業を、9月～12月にかけて実施しています。この事業は、世界遺産講座(座学)と現地学習を通して、世界遺産の大切さや紀伊山地の霊場と参詣道への理解が深まるように、和歌山県内の児童・生徒への学習支援を行うものです。参加校の中には、現地学習のなかで道普請(土入れ作業等)をして、児童生徒が直接、参詣道の保全に関わる学校もあります。平成30年度次世代育成事業実施予定校数は25校です。今後は、平成30年度和歌山県世界遺産マスター新規募集にかかる、研修・試験等を実施する予定です。

平成30年9月～12月の道普請参加団体(敬称略)

株式会社阪急交通社・那智勝浦町立宇久井小学校・御坊市立河南中学校・環境保全トレーニング・てくる会・関西東急会・株式会社JTBメディアリテラリング西日本事業部・和歌山市立大新小学校・海南市立大野小学校・花王株式会社和歌山事業場・和歌山県立田辺高等学校・一般財団法人和歌山県損害保険代理業協会・和歌山県立新理高等学校・新宮市立王子ヶ浜小学校・さわかみ一般財団法人和歌山県警少年課・和歌山県商工観光労働部・和歌山県立立見小学校・富士通株式会社・日本道路株式会社・田辺市立本宮中学校・西日本旅客鉄道(株)田辺エリア会・和歌山県立立山小学校

「道普請」とは

文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは

和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。

住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

## 新春スペシャル お正月体験教室

恒例の餅つき大会や風凧づくり、紙飛行機づくりや折り紙体験など、お正月はご家族そろって熊野古道センターへGO!

交流棟ロビーでは、コマ・はねつき・カルタなどで楽しめます!

### 2 水 連凧づくり体験

時間 午前10時～12時

参加料 200円

定員 20名(要申込・応募多数は抽選)

場所 体験学習室

講師 熊野古道センター職員

12/22(土)

時間 午後1時30分～3時

参加料 無料

定員 80名(要申込・先着順)

会場 映像ホール

講師 熊野古道センター職員

### 2 3 風凧づくり体験

時間 午前10時～12時 / 午後1時～3時

参加料 200円(事前申込不要)

場所 交流棟大ホール・芝生広場

講師 熊野古道センター職員

12/22(土)～12/28(金)

### 3 餅つき体験

時間 午後1時～2時頃

参加料 無料(事前申込不要) ※無くなり次第終了

場所 交流棟小ホール

協力 方向会のみなさま

12/22(土)

### 3 干支(亥) 折り紙の飾り物づくり体験

時間 午後1時～3時受付

参加料 300円

定員 30名(事前申込不要・先着順)

場所 展示棟ロビー

講師 折り紙サークルのみなさま

12/22(土)

### 東紀州のクリスマスワンプレート

東紀州の特産品や食材の魅力を知っていただくための料理教室です。クリスマスにぴったりのパーティープレートを作ります。

12/23(日)

時間 午前10時～午後1時

参加料 2,000円

定員 24名(要申込・応募多数の場合抽選)

場所 体験学習室

講師 村林 新吾氏(相可高校食物調理科教師)、相可高校生徒(調理クラブ)

11/23(土)～12/16(日)

### 福を巻き込む恵方寿司

東紀州の特産品や食材の魅力を知っていただくための料理教室です。東紀州の食材を使った、見た目も美しい恵方寿司を作ります。

1/3(水)～1/27(日)

時間 午前10時～午後1時

参加料 2,000円

定員 24名(要申込・応募多数の場合抽選)

場所 体験学習室

講師 村林 新吾氏(相可高校食物調理科教師)、相可高校生徒(調理クラブ)

### 日曜ものづくり体験教室

東紀州で活躍中の木工職人や芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんで頂けます。

12/23(日)

時間 午後1時～3時受付

参加料 200円～(※体験によって異なります)

場所 交流棟ロビー

講師 大形 弥生氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、中井 智章氏、吉田 誠人氏、熊野古道センター職員

詳しくは熊野古道センターHPでご確認ください。

### 2/23(土) 3/2(土) おひなさまの折り紙体験

「尾鷲おひなさま祭り」との共催で、熊野古道センター全館でおひなさまを展示します。展示期間中の土曜日には「おひなさまの折り紙体験」を開催します。講師の皆さんのご指導のもと、折り紙でおひなさまを作ることができます。

おひなさま展示期間 2/23(土)・3/3(日)

時間 午後1時～3時

参加料 200円

場所 展示棟ロビー

講師 折り紙サークルの皆さん

### 2019 in 紀伊半島 2/9(土) 中村 天平 ピアノコンサート

高校を中退後、17歳から本格的な音楽の道に進み大阪芸術大学演奏コースピアノ学科を首席で卒業したという異色の経歴を持つピアニスト、中村天平氏のコンサートを開催します。

時間 午後1時30分～午後3時予定

参加料 1,000円

定員 200名(要チケット・先着順)

場所 交流棟大ホール

出演 中村 天平氏(作曲家・ピアニスト)

※来就学児のお子様のご入場はご遠慮ください。

### 12/23(日) 2/10(日) 今比丘尼が絵解く 曼荼羅図

中世・近世において、曼荼羅を携え布教と勧進のため全国各地で絵解きをしていた熊野比丘尼を、新宮市観光ガイドの会会員が比丘尼に扮して実演します。

12/23(日) 2/10(日)

時間 午前11時～12時、午後1時～2時

参加料 無料

定員 30名程度(事前申込不要)

場所 展示棟ロビー

講師 新宮市観光ガイドの会の皆様

### 講演会 3/23(土) 巨大地震の予知はなぜ難しいか

南海トラフ地震に関する最新の知見、世界中で起きている地震や津波、豪雨災害などの紹介を織り交ぜ、さらに新しい手法や考え方を取り入れた防災減災研究などを紹介します。

DONETのプロジェクトにみる

2/23(土)～3/23(土)

時間 午後1時30分～午後3時

参加料 無料

定員 80名(要申込・先着順)

場所 映像ホール

講師 金田 義行氏(吉川大学特任教授、JAMSTEC 上席技術研究員)

共催 三重県立熊野古道センター・国立研究開発法人海洋研究開発機構